

10月の回収量は・・・

— —

kg

シービンで
回収した物

TOP

3

1

— —

2

— —

3

— —



先月、貝の付着によって一時的に動かなくなっていたシービン。今月、再稼働に向けて大清掃作業を行いました！引き上げてみると、外側も内側もびっしりと貝が張り付き、汚れも想像以上。ヘラを使って少しずつ削り落とし、高圧洗浄機で細かい部分まできれいに洗浄しました。長時間の作業で腕もパンパンに……。それでも、海をきれいに保ちたいという思いで、全員が最後まで集中して取り組みました。途中からは雨が降り出し、寒さとの戦いにもなりましたが、無事にすべての清掃を完了！ピカピカに生まれ変わったシービンは、再び静かに海面に戻され、見事に稼働を再開しました★今回の作業を通して、日々のメンテナンスの大切さと、海の環境変化の早さを改めて実感。これからも小さな積み重ねを大切に、きれいな海を守る活動を続けていきます。

Vol.

4

MARIS 通信

海洋ごみ回収装置

シービン部

深浦BP

2025年

11月4日 発行

【新聞の作者】

事業部 浅倉



—MARIS NEWS—

マリンスポーツ財団（Maris）と 認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）が新たにタイアップ。全国のライフジャケットレンタルステーションで1着借りるごとに Maris が 20 円を JCV を通じて開発途上国向けワクチンに寄付する「命を守るWアクション」を開始しました。



詳細はこちらから→

ライフジャケット×ワクチン
命を守るダブルアクション

RIS
TS FOUNDATION



世界の子どもに
ワクチン
JCV
Japan Committee
Vaccines for
the World's Children



10月の回収量は・・・

— —

kg

シービンで
回収したごみ

TOP

3

1

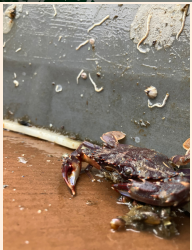
— —

2

— —

3

— —



先月、一時的に稼働が止まっていたシービン。長期間の稼働で本体に多くの貝や海藻が付着し、水の循環がうまくいかなってしまいました。そこで今月、メンバー全員で大清掃作業を実施しました！引き上げてみると、想像以上の状態に驚き…。びつしりと貝が固着し、内部まで汚れが入り込んでいました。まずはヘラで一つひとつ丁寧に貝を削ぎ落とし、その後は高圧洗浄機で細部までしっかりと洗浄。作業中は海水の飛沫と泥で全身びしょ濡れになりながらも、「また動かしたい」という気持ちで全員が集中して取り組みました。途中からは冷たい雨が降り出し、寒さで手がかじかむ中での作業となりましたが、無事にすべての清掃を終え、シービンは再び稼働を開始！

ピカピカになった本体が再び海面に設置され、ゆっくりとごみを吸い上げ始めた瞬間は、思わず拍手が起るほど嬉しい瞬間でした！

Vol.

4

MARIS 通信

海洋ごみ回収装置
シービン部

浦賀BP

2025年

11月4日 発行

【新聞の作者】
事業部 浅倉



—MARIS NEWS—

ライフジャケット×ワクチン
命を守るダブルアクション

MARIS
SPORTS FOUNDATION



世界の
子どもに
ワクチン
JCV
Japan Committee
Vaccines for
the World's Children

マリンスポーツ財団 (Maris) と 認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV) が新たにタイアップ。

全国のライフジャケットレンタルステーションで1着借りるごとに Maris が 20 円を JCV を通じて開発途上国向けワクチンに寄付する「命を守るWアクション」を開始しました。



くわしくはこちらから→

